

東京国際セミナー2006：新しい開発資金メカニズムを考える ～MDGs 達成と人間の顔をしたグローバリゼーションをめざして～

■日時：2006年5月27日（土）午後2時～7時（午後1時30分開場）

■場所：日仏会館ホール

■主催：オルタモンド、アフリカ日本協議会（AJF）、世界の医療団（MDMJapon）、
日仏会館フランス事務所（MFJ）

共催：千葉大学 21世紀 COE 持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点、トービン税研究会、
WE21 ジャパン、ピープルズ・プラン研究所、日本ネグロス・キャンペーン委員会、
草の根援助運動、グローバル・ヴィレッジ

協力：「ほっとけない世界のまずしさ」キャンペーン、

シェア＝国際保健協力市民の会

【以上、4月24日現在】

■入場料： 無料（詳しいセミナー資料 1000 円：希望者のみ）

■言語：日英同時通訳つき

（東京国際セミナー2006 の開催にあたって）

2006年という年は、ミレニアム開発目標（MDGs）や公正なグローバリゼーションにとって、ターニング・ポイントとなる年です。絶対的に不足している開発資金を調達するための、新しいメカニズム（国際連帯税、国際金融ファシリティ：IFF）が、フランスやブラジル、イギリスなどでスタートするからです。こうした資金メカニズムは、人間の顔をしたグローバリゼーションを実現する、多くの可能性を秘めています。

かつてない富を生む一方で、貧困や格差をも生み出す経済のグローバリゼーション。とりわけ暴走するグローバル金融への規制（トービン税や国際税）は可能なのか？そして私たちに何ができるのか？世界各国からこの分野の第一人者をお招きして、ともに考え、ともに討論していきます。

<プログラム> *変更の可能性がります

司会：プリュン・エフテル（世界の医療団 日本事務局長）

14h 開会挨拶：フランソワーズ・サバン（日仏会館フランス学長）

田中徹二（オルタモンド事務局長）

■セッション1 14h10~16h20

「新しい開発資金メカニズムとミレニアム開発目標（MDGs）」

◇コーディネーター：田中徹二（オルタモンド事務局長）

◇スピーカー・パネリスト

ピエール・ジャケ（フランス開発庁主席エコノミスト）

エイドリアン・デイヴィス（英国国際開発省中国代表）

アンリ・ルイーユ・ドルフィーユ（フランス Coordination SUD 会長）

林 達雄（アフリカ日本協議会代表、「ほっとけない 世界のまずしさ」キャンペーン代表）

金子 文夫（横浜市立大学国際総合科学部教授 トービン税研究会）

■セッション2 16h45~18h50

「グローバル経済の規制と再配分 ~人間の顔をしたグローバリゼーションのために」

◇コーディネーター：上村 雄彦（千葉大学 21世紀 COE フェロー）

◇スピーカー・パネリスト

ブルーノ・C・サライバ（ブラジル財務省）

金泳鎬（キム・ヨンホ）（柳韓大学学長、元韓国産業資源相）

ソニー・カプーア（英国 Stamp Out Poverty シニア・ディレクター）

勝俣 誠（明治学院大学国際学部教授）

広井 良典（千葉大学法経学部教授、同大学 21世紀 COE プログラム「持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点」）

和仁 道郎（横浜市立大学国際総合科学部準教授）

■総括と提案：高木 晶弘（オルタモンド）

【お問い合わせ】

オルタモンド事務局

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F

Tel: 03-3831-4993 Fax: 03-3834-2406

東京国際セミナー問い合わせ専用アドレス: tokyo-international2006@mail.goo.ne.jp

公式ブログ；<http://blog.goo.ne.jp/tokyo-international2006/>

オルタモンドHP；<http://altermonde.jp/>（詳しいプログラムはこちらでご確認ください）